

【福島県】令和2年度女性活躍促進事業

地域の実情と課題

本県では総務省が公表した2020年の人口移動報告における転出超過は6,681人、少子高齢化の進展に加え、震災後の人口流出により労働力不足が顕著である。このような中、労働力人口を確保し、持続可能な地域社会を築いていくためには、女性が働き続けることができ、活躍できる社会を形づくっていく必要があるため、「ふくしま女性活躍応援会議」と連携しながら、女性が活躍できる環境づくりを進めている。しかしながら、女性活躍推進の必要性・有用性への理解は十分とはいえず、地域・職場・家庭において、未だに固定的な男女の役割分担意識が根強く残り、男性の家事・育児・介護への参画促進などまだまだ解決すべき課題がある。

目的・目標

- ・ふくしま女性活躍応援宣言賛同企業・団体数
R1年度 243(R2.3月末現在) → R2年度 251(R3.3月末現在)
- ・市町村における男女共同参画計画の策定率
R1年度 48市町村 81.4%(R2.3月末現在) → R2年度 52市町村 R3.3月末現在) 4町村の増となった。
- ・次世代育成支援企業認証数
R1年度 595社(R2.3月末現在) → R2年度 717社(R2.3月末現在)
- ・県の審議会等における女性委員の割合 R1年度 36.1%(R1.4.1現在) → R2年度 35.0%(R2.4.1現在)

事業の特徴

- 1 キラっ人さん活躍促進事業
コロナ渦での新しい働き方と女性活躍などをテーマとする講演会のほか、講師と県内で活躍している女性、女性活躍に取り組む企業の代表者及び知事によるトークにより人生を豊かにする新しい働き方や暮らし方を考えていくイベントを開催した。
- 2 地域女性活躍推進事業
地域における女性活躍推進に関する自主的な取組を促進するため、市町村・企業・団体等にアドバイザーを派遣し、地域での課題等の洗い出しや推進策について助言等を行った。

連携団体

ふくしま女性活躍応援会議構成団体
【経済団体】福島県商工会議所連合会、福島県商工会連合会、福島県中小企業家同友会、福島県経営者協会連合会、福島県中小企業団体中央会
【農林水産業】福島県農業協同組合中央会、福島県漁業協同組合連合会、福島県森林組合連合会
【建設業】福島県建設産業団体連合会
【医療福祉】福島県医師会、福島県社会福祉協議会
【教育】アカデミア・コンソーシアムふくしま
【労働】日本労働組合総連合会福島県連合会
【地域活動】福島県女性団体連絡協議会
【国】福島労働局
【市町村】福島県市長会、福島県町村会
【県】男女共生センター、福島県

事業の効果

1 キラっ人さん活躍促進事業

- ・企業・団体の経営者・管理者、一般県民等を対象とした講演会・トークセッションの開催により、コロナ渦において求められる新しい働き方と女性活躍について考える機会となった。

- ・料理教室・ミニセミナー等の開催により、家事・育児等の負担が女性に偏っていることが多い現状を認識するとともに、男性の家事・育児等への参画の必要性について理解を深めることができた。

- ・地域において女性活躍推進に積極的に取り組む企業や様々な分野で活躍する女性ロールモデルを対象とした取材・調査(8件)を実施し、先進的な取組を県内に周知した。

2 地域女性活躍推進事業

- ・アドバイザーの派遣により、地域の現状と課題を把握し、女性活躍推進の有用性や必要性を再認識するとともに、地域における自主的な取組を促進した。

今後の課題

- ・男女別に管理職人数の構成比をみると、男性の78.9%に対して、女性は21.1%であり、男性との差が大きい(R1福島県労働条件等実態調査)。また、リーダー・管理職に「なりたくない」と回答する割合が増加し、リーダー・管理職を志向する女性の割合が低くなっていることから(R1福島県男女共同参画・女性の活躍に関する意識調査)、女性人材の育成やスキルアップの重要性について理解を深め、女性自身や周囲の意識を変えていくための取組が必要である。

- ・家事・育児・介護の全部または大部分を女性が負担するなど、家事・育児等の負担割合には依然として偏りが見られることから、男性の家事・育児参画に関する取組を進めることが必要である。

- ・女性活躍に向けた気運の醸成や性別役割分担意識の解消を図っていくためには、市町村の取組が不可欠である。本県における市町村の男女共同参画計画の策定状況は88.1%まで増加したものの、女性活推進法に基づく推進計画の策定状況は44.1%(R3.3月末現在)と低い水準にとどまっているため、今後も引き続き職場・家庭・地域の取組を促進する必要がある。

以上のことから、今後も引き続き「ふくしま女性活躍応援会議」と連携しながら女性が活躍できる環境づくりを進めるとともに、特に、ウィズコロナ社会においては、育児や介護等により時間や働く場所に制約があっても、働きたい意欲のある人が働ける環境づくりに向けた取組をさらに進めていく必要がある。

事業の概要

1 キラっ人さん活躍推進事業

(1) 講演会・トークセッションの開催

① 講演会「新しい働き方と女性活躍～コロナが変えた価値観と働き方～」

講師：健康社会学者(Ph.D) 河合薫さん

② トークセッション

テーマ：「人生を豊かにする新しい働き方」

出演者：河合薫さん

一般社団法人fukucier(ふくしえる) 代表理事 小林しのぶさん

日本精測株式会社 代表取締役会長 佐藤光信さん

福島県知事 内堀雅雄



講師 河合薫さん



トークセッションの様子

③ 親子料理教室・ミニセミナーの開催

開催日：令和3年2月13日(土) 午前と午後の2回

場所：福島ガスショールーム プロメ(福島市)

参加者：小学校1年生～コロナが6年生までの子どもとその父親 5組10名

内容：本田ようさんを講師(オンライン出演)に、手まり寿司を調理した。

また、男性の家事・育児参画について考えるミニセミナーも行った。

2 地域女性活躍推進事業

女性活躍推進に関して専門的な知識を有するアドバイザーを市町村等に派遣し、地域での課題等の洗い出しや推進策について助言等を行った。

アドバイザー派遣先 5団体(国見町、三春町、磐梯町、猪苗代町、川内村)

